

令和7年倉敷市スポーツ章受章者（スポーツ振興功労者）

（規則第3条第2項第1号に該当）
（氏名については敬称略）

No.	氏 名	推薦団体	
1	きりの ひろし 桐野 博史	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会 卓球部	人望の厚い人柄で、平成11年の旧倉敷市体育協会〔※〕時代から現在もなお28年の長きに亘り、（公財）倉敷市スポーツ振興協会卓球部の理事、部長、副部長と要職に就き活動を支えている。また、その間、同協会組織においても副理事長、評議員も務め貢献してきた。 競技面では、自身の競技実績を基に、競技力強化部長をはじめ、県代表である国民スポーツ大会の監督を歴任するなど、トップレベルの一般から中学生の指導まで後進の育成に尽力している。 長年の卓球競技への普及・発展の功績は顕著である。
2	ながお みつしろ 長尾 光城	公益財団法人 倉敷市スポーツ振興協会	倉敷市主催事業である川崎医療福祉大学で開催の中老年健康・スポーツ教室の立上げの中心で、現在も高梁川流域健康・スポーツ推進事業大学講座のベースとして続いており、多くの市民参加者に生涯に亘る健康意識や習慣の取り組みに大きな影響を与えた。 また、スポーツドクターという専門的な医科学見地から平成21年より旧倉敷市体育協会の副会長をはじめ、岡山県体育協会（現岡山県スポーツ協会）の理事として、それぞれの組織でのスポーツ医・科学委員会の委員長等を務めた。スポーツ相談室など各場面での専門的アドバイスや指導を行い、競技分野においても倉敷市のみならず県域においてもスポーツ振興への功績は大きい。

〔※〕 現（公財）倉敷市スポーツ振興協会